



杉谷 洋一 議員

集落での健康対策は

町長

健康教室を実施する



医大生による健康づくり活動

【杉谷】健康づくりの基本は自らが主体性を持って日々努力することである。行政が地域住民の中に入り込み、総合的な健康づくりを計画・実施することで健康意識や集落の活力が高まると考える。

集落での健康づくりはどうなっているか。

【町長】鳥取大学医学部の学生が集落での健康教室を実施し、健康への意識向上につながった。

平成28年度も依頼す

る予定である。

【杉谷】保健師が健康測定器具を使い、集落で指導管理を行ってはどうか。

【町長】総合文化祭で健康測定器具を用いて指導したことが、健康づくりの関心を高めた。

健康測定器具は高価なので、医療関係者の協力を受けて実施したい。

【杉谷】大山賛歌体操で健康管理を促しては。

【町長】体操を活用して健康づくりにつなげたい。

災害に対する備えは

町長

危機意識を

持って対応している

【杉谷】町民の生命と財産を守るためには、被害を最小限に食い止める必要がある。

集落の自主防災組織の進捗よく状況は。

【町長】平成26年度は、6組織が立ち上がり、町内全体で組織率は70.7%となった。

【杉谷】土砂災害危険箇所の点検は。

【町長】県の5年に1回の点検と、平成26年9月に全国一斉点検を実施した。

【杉谷】雪害対策は。

【町長】除雪車などの機動力向上をはかり、関係集落と連携し対応する。

【杉谷】総合防災訓練

の各集落での取り組み状況は。

【町長】災害対策本部・自治会などで問題点を検討し、危機意識を持った対応の共通認識をはかった。

【杉谷】鳥取大学に災害シミュレーションを依頼してはどうか。

【町長】平成25年度から5年間の自然災害リスクの調査研究を依頼している。



訓練に活用したい防災マップ